

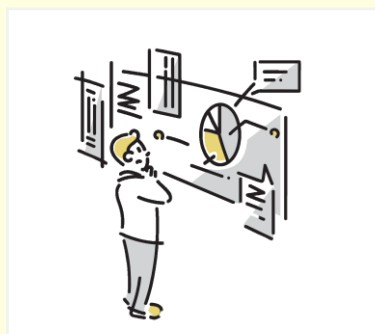
柿木図書館及び周辺施設の 更新方法（素案） に関するオープンハウス

老朽化が進んでいる柿木図書館及び周辺施設に関する更新方法（素案）について、皆様のご意見を是非お聴かせください。

これまでの資料は、区ホームページでご覧いただけます。
(<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s002/22362.html>)



■ 対象施設



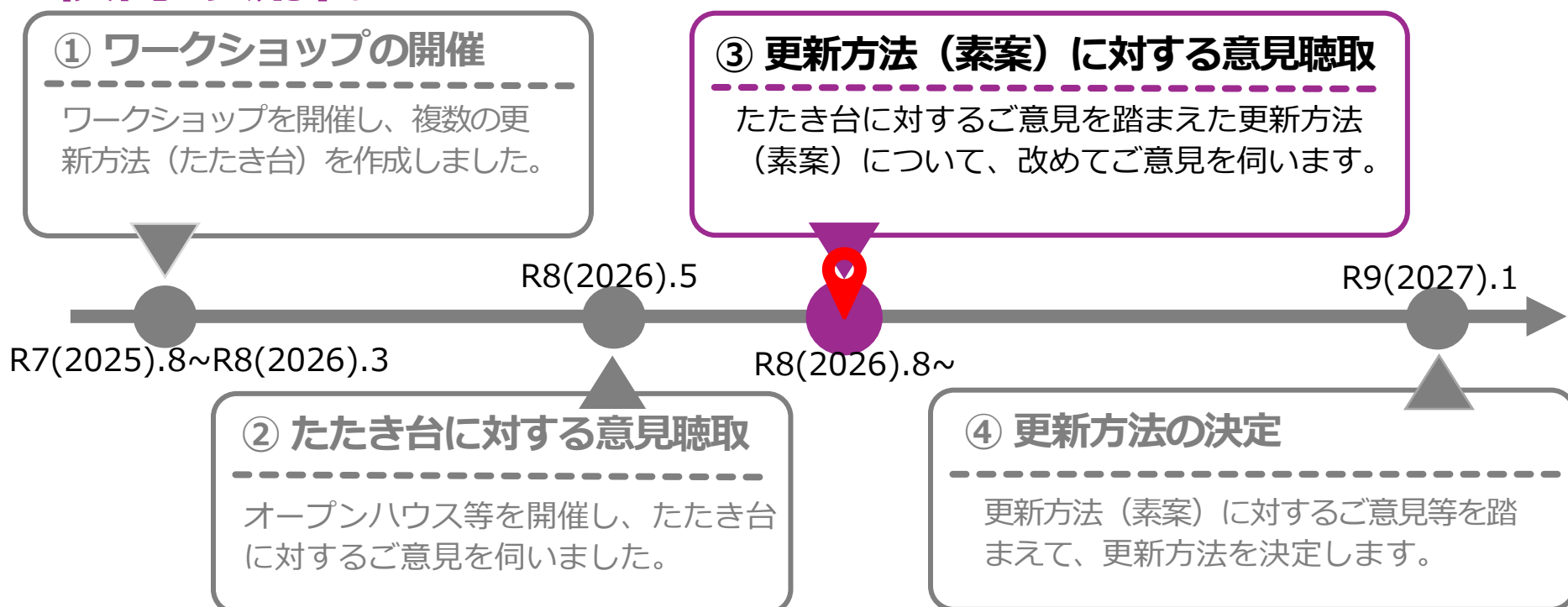
パネル資料を
ご覧ください



アンケートにご回答ください
回答期限 ▶ 8月23日（日）



■ 検討の流れ





■ 令和7年度のワークショップを通じて作成した“たたき台”

たたき台1

四宮区民集会所は改築せず、四宮保育園・ゆうゆう四宮館、柿木図書館を現地改築する案

たたき台2

四宮保育園と集会施設を併設し、柿木図書館を現地改築する案

たたき台3

四宮保育園と柿木図書館の配置を入れ替え、柿木図書館と集会施設を合築する案

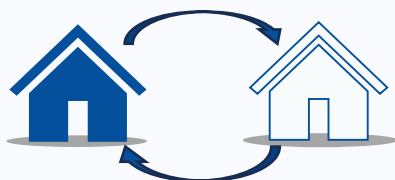
※たたき台2・3の集会施設は、ゆうゆう館と区民集会所又は、コミュニティふらっととする案が考えられます。

■ 施設の更新に当たってのポイント

ポイント1

柿木図書館と四宮保育園の移転

※たたき台1,2 → 移転しない
たたき台3 → 移転する

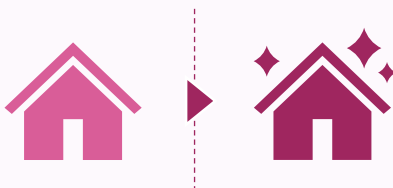


- ・ 近隣への影響
- ・ 各施設的环境
- ・ 柿木図書館の休館期間
- ・ 四宮保育園の仮設園舎についてどう考えるか？

ポイント2

四宮区民集会所の改築

※たたき台1 → 改築しない
たたき台2,3 → 改築する



- ・ 四宮区民集会所の改築費用
- ・ 土地の有効活用についてどう考えるか？

ポイント3

集会施設の形態

※ゆうゆう館と区民集会所
or
コミュニティふらっと



- ・ 様々な世代が気軽に利用できる居場所
- ・ 高齢者専用の施設
- ・ 施設の有効活用についてどう考えるか？



ポイント1 柿木図書館と四宮保育園の移転

柿木図書館と四宮保育園の移転に関しては、これまでのワークショップやオープンハウス等で様々な観点から多くのご意見をいただいております、こうしたご意見等を踏まえた上で、改めて柿木図書館と四宮保育園の配置を入れ替えない案(たたき台1,2)と入れ替える案(たたき台3)の比較を行いました。

【柿木図書館と四宮保育園の移転に関する比較】

項目	柿木図書館と四宮保育園を入れ替えない案 (たたき台1,2)		柿木図書館と四宮保育園を入れ替える案 (たたき台3)	
近隣への影響	○	・施設の場所が変わらないため、近隣への影響が小さい。	△	・施設の場所が変わるため、近隣への影響が大きい。特に、図書館は地域に根差した施設として、移転に反対する意見が多い。
施設環境	—	・施設の場所が変わらないため、現在の施設環境と変化が少ない。特に、緑に囲まれた静かな環境にある図書館をこのまま維持してほしいといった意見が多い。なお、保育園の延床面積が現在の基準に合わせて大きくなるため、園庭面積は現状よりも小さくなる。	—	(図書館) ・場所を移転し、集会施設と一体的に整備するため、施設環境が変わる。 (保育園) ・場所の移転に伴い、施設環境が変わる。 ・園庭面積を現状程度確保できる。
図書館の休館期間	○	・図書館の休館期間が約3年となる。(解体約1年、建築約2年)	△	・図書館の休館期間が約6年となる。(図書館解体約1年、図書館跡地への新保育園建築約2年、旧保育園等解体約1年、旧保育園跡地への図書館建築約2年)
保育園の仮設園舎	△	・保育園の仮設園舎を整備する費用がかかる(約3.5～4.5億円)。また、仮設園舎への移転に伴う園児・保護者の負担が生じる。	○	・保育園の仮設園舎を整備する費用が不要。また、仮設園舎への移転がないため、園児・保護者の負担が減る。

図書館と保育園の配置を入れ替える場合、保育園の仮設園舎が不要となるため、整備費用を抑えられる一方で、図書館の休館期間が長期化(6年間)するなどの課題があります。また、ワークショップやオープンハウス等を通じて、柿木図書館については、地域に根差した施設として多くの利用者に親しまれており、現在の場所から移転してほしくないといったご意見を数多くいただきました。

区としましては、利用者のこうした想いを受け止め、十分に尊重していくことが重要であると考え、**柿木図書館と四宮保育園を移転しない**案を更新方法(素案)とします。

！ 整備に当たっては、以下の点に留意していきます

保育園の園庭について

○四宮保育園の園庭は、現状(563㎡)よりも小さくなるものの、認可基準(204.6㎡)の2倍程度の面積(400㎡弱を想定)を確保していきます。

保育園の仮設園舎について

- 保育園の仮設園舎については、在園児に影響が生じないようにするため、現在の在園児が卒園した後の令和13年度(2031年度)以降に利用することとします。また、令和9年度(2027年度)以降の入園者に対しては、仮設園舎を利用することになる旨をあらかじめお知らせします。
- 仮設園舎の整備に当たっては、線路の南側にある他の用地を活用できないか等について引き続き検討するとともに、できる限りコストの縮減に努めていきます。



ポイント2

四宮区民集会所の改築

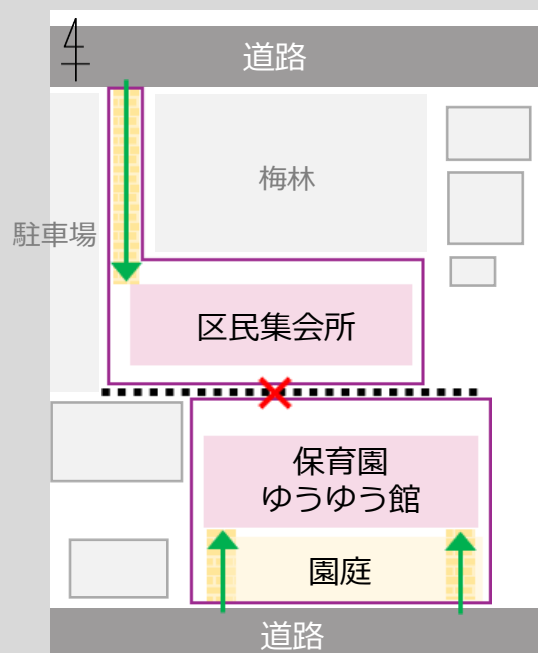
四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接していることから検討の対象としている四宮区民集会所について、これまでのワークショップやオープンハウスでのご意見等を踏まえた上で、改めて四宮区民集会所を改築しない案(たたき台1)と改築する案(たたき台2,3)の比較を行いました。

【四宮区民集会所の改築に関する比較】

項目	四宮区民集会所を改築しない案 (たたき台1)		四宮区民集会所を改築する案 (たたき台2,3)	
区民集会所の改築費用	○	・ 区民集会所の改築に係る費用(約1.5～2.5億円)がかからない。ただし、今後、単独で区民集会所を改築する際に、別途費用がかかる。	△	・ 区民集会所の改築に係る費用(約1.5～2.5億円)がかかる。
土地の有効活用/利便性の向上	△	・ 今後、単独で区民集会所を改築する際、敷地面積が小さく、コミュニティふらっとの整備が難しくなるなど、活用検討の幅が狭くなる。	○	・ 土地を一体で有効活用し、これまでよりも広い部屋を設置できるなど、利用者の利便性向上を図れる。

更新後のイメージ（一例）

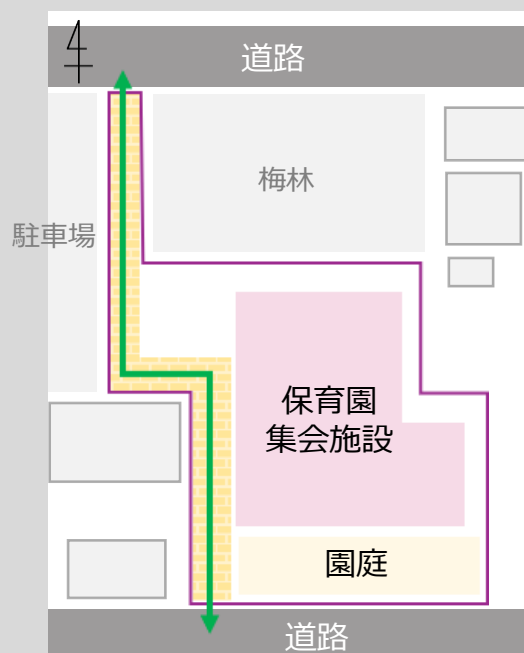
たたき台1



区民集会所を改築しないため、

- 南側又は北側の道路からしか建物にアクセスできない状況が変わらない
- 広い部屋を新たに設置することが困難

たたき台2 (たたき台3も同様)



区民集会所を改築することで、

- 南北双方の道路からアクセスできるようになることが可能
- 80～100㎡程度の多目的室など、広い部屋を新たに設置することが可能

区民集会所を築47年程度で改築することについては、費用の観点から無駄であるというご意見があった一方で、「今回改築しなかったとしても10数年後には改築することを考えると、整備費用は今よりもさらに高くなっている可能性があり、課題を先送りするのではなく、このタイミングで課題解決を図った方がメリットが大きい」などのご意見もありました。

区としましては、これまでよりも広い部屋を設置できるなど、利用者のニーズに対応した、より魅力的な施設をつくることができると考え、保育園・ゆうゆう館と併せて**四宮区民集会所を改築する**案を更新方法(素案)とします。

！ 整備に当たっては、以下の点に留意していきます

整備費用について

- 集会施設の整備に当たっては、現在の利用状況等を踏まえた上で、必要な集会室の数を検討するなど、整備費用の適正化に努めます。

保育園の安全性について

- 保育園と集会施設の併設に当たっては、両施設の出入口を別々に設けるとともに、壁や扉などにより建物内の動線を分離することで、園児の安全性を十分に確保していきます。



ポイント3

集会施設の形態

集会施設について、これまでのワークショップやオープンハウス等でのご意見のほか、ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所の利用者のご意見等を踏まえた上で、ゆうゆう館と区民集会所を整備する案とコミュニティふらっとを整備する案の比較を行いました。

【集会施設の形態に関する比較】

項目	ゆうゆう館と区民集会所の整備		コミュニティふらっとの整備	
様々な世代が気軽に集まれる居場所	△	・誰もが予約なしで自由に利用できる区民集会所のロビーについて、区民集会所のほかにゆうゆう館を整備するため、コミュニティふらっとを整備する場合と比べて広いスペースを確保しにくい。	○	・予約なしで自由に利用できるラウンジを広く確保することで、おしゃべりができる空間と静かに過ごせる空間を分けるなど、様々な世代の多様なニーズに応えていくことができる。
高齢者専用の施設	○	・高齢者専用の施設としてゆうゆう館が継続する。	△	・高齢者専用ではなく、多世代向けの施設になる。
施設の有効活用	△	・ゆうゆう館と区民集会所にトイレや事務室、階段等を別々に設置する必要があるため、コミュニティふらっとを整備する場合と比べて、施設の有効活用を図りにくい。	○	・トイレや事務室、階段等の共用部を一つに集約できるため、ゆうゆう館と区民集会所を別に整備する場合と比べて、施設の有効活用を図りやすい。

これまでのワークショップやオープンハウス等では、「ゆうゆう館や区民集会所の利用者は限られており、地域住民がもっと気軽に利用しやすいような集会施設にしてほしい」といったご意見がありました。また、ゆうゆう館の利用者からは「貸室利用の前後にくつろげたり、飲食ができるスペースをつくってほしい」とのご意見や、四宮小学校の児童からは「友達とおしゃべりできる場所がほしい」などのご意見をいただきました。

こうしたことを踏まえ、区としましては、年齢に関係なく誰でも自由に利用できるスペースをできるだけ広く確保することなどが重要であると考え、**集会施設としてコミュニティふらっとを整備する**案を更新方法(素案)とします。

一方、ゆうゆう館の利用者からは、「ゆうゆう四宮館には魅力的な講座が多いので継続してほしい」や「ゆうゆう四宮館の受付の人は、利用者への声掛けなどをしてくれて温かく、コミュニティふらっとになっても大きく雰囲気を変えないでほしい」といったご意見もいただいております。こうしたゆうゆう四宮館の良さをコミュニティふらっとへも継承していくため、以下のことに取り組んでいきます。



コミュニティふらっと成田のラウンジ



コミュニティふらっと永福の多目的室

！整備に当たっては、以下の点に留意していきます

ゆうゆう館機能の継承について

- コミュニティふらっとでは、高齢者団体が一般の利用者よりも先に貸室を予約できる優先枠を設け、使用料を免除することで、ゆうゆう館の活動を継続できるようにしています。
また、コミュニティふらっとは、運営事業者が利用者の要望をお聴きしながら、多世代向けのイベントのほか、**高齢者向けの講座などを実施**しており、今後も利用者のニーズに合った魅力的な企画を考えていきます。
- コミュニティふらっとにおいても、ゆうゆう館と同様に運営事業者による声掛けや見守りなど、高齢者にとって温かみの感じられる対応を行っていきます。
なお、コミュニティふらっと8館のうち5館は、ゆうゆう館の運営経験がある事業者(NPO法人等)が運営しています。



以上のポイントを踏まえ、更新方法(素案)は、柿木図書館と四宮保育園を現在の場所でそれぞれ改築するとともに、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と併せて四宮区民集会所を改築する**たたき台 2**にすることとしました。また、集会施設については、**コミュニティふらっと**を整備することとしました。

たたき台 2

四宮保育園と集会施設を併設し、柿木図書館を現地改築する案



たたき台 3

保育園と図書館の配置を入れ替え、図書館と集会施設を合築する案



■ “取組への期待”に基づく更新方法（素案）の評価

令和7年度のワークショップで整理した“取組への期待”に基づき、区として更新方法（素案）を評価しました。

(1)様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる

○コミュニティふらっとを新たに整備することで、ダンスなどの軽い運動や音の出る活動など、様々な用途で利用できる多目的室を設置するとともに、地域の人々が自由に使える、交流ができるラウンジをこれまで以上に広く確保できます。

(2)気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる

○コミュニティふらっとを新たに整備することで、一人や少人数でも気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせるようなカウンターなどを備えたラウンジを設置できます。
○柿木図書館を単独で改築することにより、落ち着いて読書や調べものができるスペースを確保できます。

(3)安全・安心の確保

○柿木図書館とゆうゆう四宮館(集会施設)を改築することで、エレベーターを新たに設置するなどバリアフリー化を図れます。

(4)子どもがのびのびと育つ

○四宮保育園の園庭面積は現状(563㎡)よりも小さくなるものの、認可基準(204.6㎡)以上を十分に確保できます(400㎡弱を想定)。
○コミュニティふらっとを新たに整備することで、子どもたちが放課後等に自由に立ち寄れるラウンジを広く確保できます。

(5)高齢者の活動場所の確保

○コミュニティふらっとでは、高齢者団体が一般の利用者よりも先に貸室を予約できる優先枠を設け、使用料を免除することで、ゆうゆう館と同様に高齢者の活動場所を確保していきます。また、運営事業者による高齢者向けの講座や見守り・声掛けなどを通じて、高齢者にとって温かみの感じられる対応を行っていきます。

(6)地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和

○施設の配置が現状と変わらないため周辺環境に及ぼす影響は小さく、地域のシンボル性や歴史を継承しやすいです。特に、柿木図書館は、地域に根差した施設として親しまれており、現在の場所から移転してほしくないといったご意見を多くいただきました。

(7)土地・建物の有効活用

○四宮保育園・ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所の敷地を1つの敷地として整備することで、これまでよりも広い部屋を確保できるなど、土地の有効活用を図れます。また、コミュニティふらっとを新たに整備することで、ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所のトイレや事務室、階段等の共用部を集約でき、ゆうゆう館と区民集会所を整備する場合と比べて、施設の有効活用が図れます。



Q1 今後の整備スケジュールはどうなっているの？
更新スケジュール（想定）

現在の建物等	更新後の建物等	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
柿木図書館	図書館	設計	解体	建築	開設					
			図書館 休館 3年							
四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	保育園 コミュニティ ふらっと				設計	解体	建築	開設		
						ゆうゆう館・区民集 休館 3年				
遊び場116番 （井草5-2）	保育園仮設園舎			設計・建築		仮設園舎利用			解体	

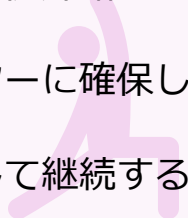
Q2 柿木図書館の改築期間中は、どこで本を借りられるの？

- 改築期間中(約3年間)は、周辺の下井草図書館や今川図書館などを利用していただく予定です。
- また、図書の貸出・返却ができる図書サービスコーナーなどを近隣に設置することも検討していきます。



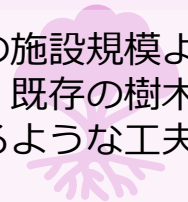
Q3 ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所の改築期間中は、どこで活動したらいいの？

- 改築期間中(約3年間)は、井草地域区民センターや八成区民集会所、ゆうゆう井草館、ゆうゆう桃井館などの周辺施設を利用していただく予定です。
- ゆうゆう館の団体活動については、一般の利用者に優先して利用できる枠を井草地域区民センターに確保し、使用料を免除することを検討していきます。
- また、ゆうゆう館の事業者が実施している講座等については、利用者等と調整し、団体活動として継続することなどを検討していきます。



Q4 柿木図書館は改築ではなく、改修して使えないの？

- 柿木図書館は、これまでに大規模な改修を実施せずに築60年を迎えており、老朽化が進んでいます。このため、改修をしたとしても、長期間にわたって建物を維持していくことは困難です。また、現在の建物は、構造上、大幅な間取り変更が難しいほか、全てのフロアにエレベーターを設置できないなど、バリアフリー対応に課題があるため、改築することとしました。

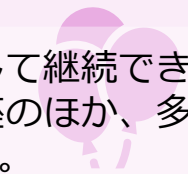


Q5 柿木図書館にある豆柿やメタセコイヤなどの樹木は残せるの？

- 新しい図書館は、エレベーターの設置などバリアフリー対応を図る必要があることから、現在の施設規模よりも大きくなる想定です。こうしたことのほか、一部の樹木は腐朽している可能性があるため、既存の樹木については一定程度伐採する必要があると考えていますが、現在の柿木図書館の雰囲気を残せるような工夫を検討していきます。

Q6 四宮区民集会所の春まつりはなくなってしまうの？

- 四宮区民集会所の春まつりについては、今後も井草地域区民センター協議会の主催イベントとして継続できるように調整していきます。また、コミュニティふらっとでは、運営事業者が高齢者向けの講座のほか、多世代向けのイベントなどを新たに実施することで、地域のコミュニティ形成を促進していきます。



Q7 柿木図書館の場所に図書館と集会施設の複合施設を建てられないの？

- 柿木図書館の敷地面積は、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所の敷地面積よりも小さく、現在の柿木図書館の敷地に図書館と集会施設の複合施設を整備することは困難です。ただし、新しい柿木図書館の整備に当たっては、集会施設のラウンジのようにおしゃべりや飲食ができるスペースを設置することなどを検討していきます。





柿木図書館（上井草1-6-13）

■ 基本情報

築年数：61年、敷地面積：1,658㎡、延床面積：1,162㎡

- ・エレベーターや幼児用/バリアフリートイレ、授乳室が設置されていないほか、児童コーナーやヤングアダルトコーナー等が不足しているなどの課題があります。



■ ワークショップ等での主なご意見



- ・「柿木」という地名に由来する図書館であるため、移転せずにこのままの場所が望ましい。



- ・読書のできるスペースが少ない。

四宮保育園（上井草2-28-3 1階）※ゆうゆう四宮館と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(ゆうゆう館含む)

延床面積：355㎡、園庭面積：563㎡

- ・現在の基準に合わせて、障害児保育のための諸室等を設置する必要があるため、改築により延床面積が増加します。
- ・休園ができない施設であることから、改築工事中の仮設園舎を整備する必要があります。



■ ワークショップ等での主なご意見



- ・広い園庭で存分に遊べる。



- ・遊戯室などの広いスペースがない。

ゆうゆう四宮館（上井草2-28-3 2階）※四宮保育園と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(保育園含む)

延床面積：202㎡

- ・主に60歳以上の区民が、憩い・いきがい学び・ふれあい交流・健康づくりの場として利用できる施設です。



■ ワークショップ等での主なご意見



- ・ゆうゆう四宮館は、雰囲気良く、家庭的な環境なので、気軽に入りやすい。



- ・エレベーターの設置などバリアフリー化してほしい。
- ・利用する人が固定化されてしまっている。

四宮区民集会所（上井草2-28-13）

■ 基本情報

築年数：42年、敷地面積：615㎡、延床面積：299㎡

- ・他の施設と比較して築年数は浅いですが、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接しており、土地の有効活用の観点から対象としています。
- ・地域区民センター協議会が、地域のお祭りや講座等を実施しています。



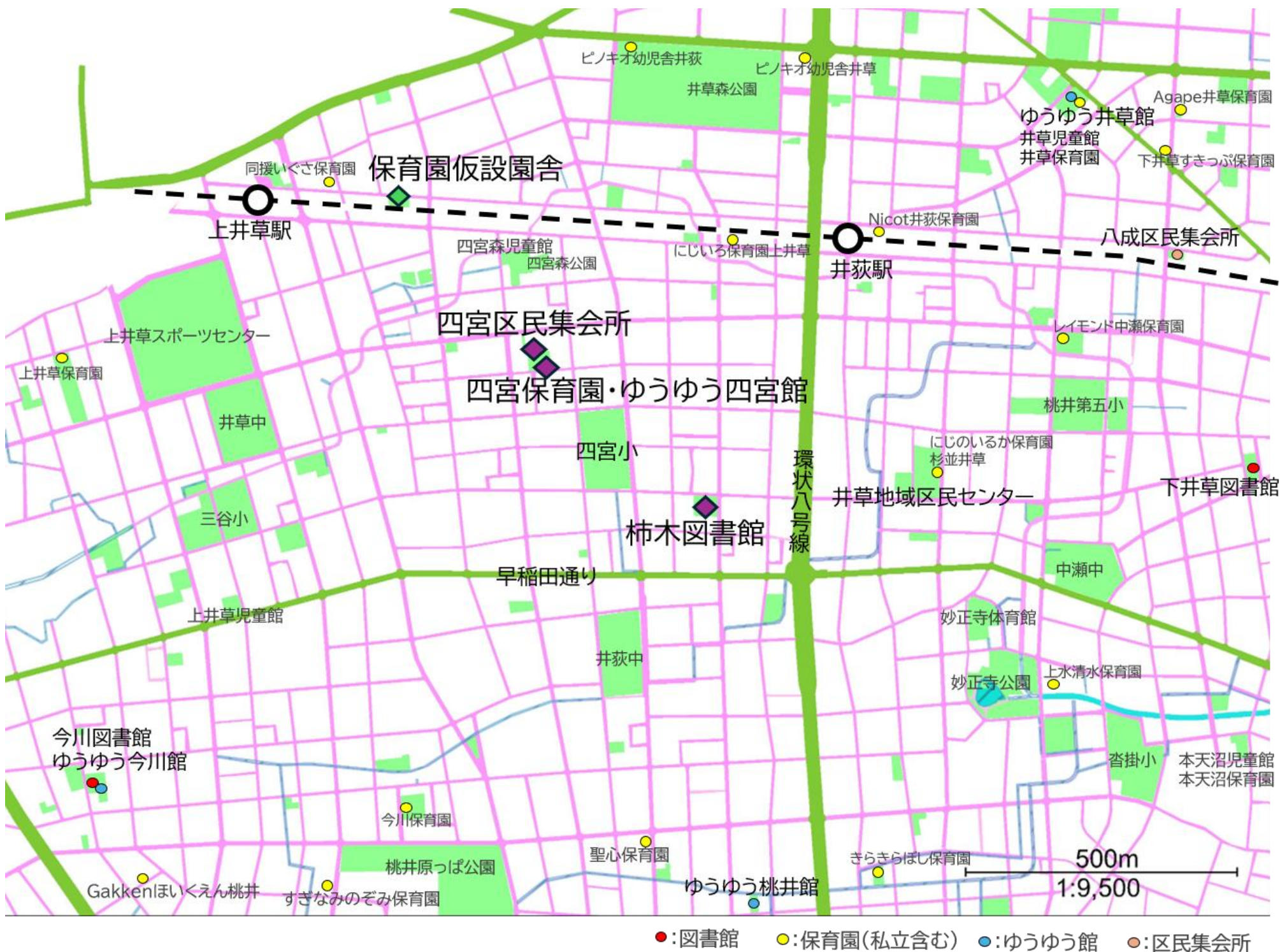
■ ワークショップ等での主なご意見



- ・いつでも自由に使える談話コーナーがある。
- ・春まつりや餅つきは地域に根付いている。



- ・広い部屋がないので、大人数で集まることができない。
- ・出入口が分かりづらいため、施設の様子が分かりにくく、利用しにくい。



終わりに



最後まで資料をご覧いただき、誠にありがとうございました。
右二次元コード（<https://logoform.jp/form/Y4gR/1691083>）から
アンケートにご回答ください。

回答期限： 8月23日（日）

